



## ポリシーの設定

---

この章は、次の内容で構成されています。

- [ダイナミック vNIC 接続ポリシーの設定, 1 ページ](#)
- [SR-IOV のカスタム イーサネット アダプタ ポリシーの作成, 5 ページ](#)

## ダイナミック vNIC 接続ポリシーの設定

### ダイナミック vNIC 接続ポリシー



(注)

Hyper-V または KVM クラスタなどの SR-IOV トポロジでは、仮想関数 (VF) はダイナミック vNIC の代わりになります。VF は基本的にはダイナミック vNIC の制限付きバージョンであり、VF のすべてのシステム通信と設定は、関連する物理的な機能 (PF) によって実行されます。

ダイナミック vNIC 接続ポリシーは、VM とダイナミック vNIC の間の接続を設定する方式を決定します。VM がインストール済みでダイナミック vNIC が設定された VIC アダプタを使用しているサーバを含む Cisco UCS ドメインには、このポリシーが必要です。

#### イーサネット アダプタ ポリシー

各ダイナミック vNIC 接続ポリシーには、イーサネット アダプタ ポリシーが含まれており、ポリシーを含むサービス プロファイルに関連付けられた任意のサーバに対して設定できる vNIC の数を指定します。

Hyper-V では、Windows という名前の定義済みイーサネット アダプタ ポリシーを使用します。

## サーバの移行



- (注) ダイナミック vNIC が設定されているサーバを、VMotion またはその他の移行ツールを使用して移行すると、vNIC が使用するダイナミック インターフェイスで障害が発生し、によってその障害が通知されます。
- サーバが復旧すると、はサーバに新しいダイナミック vNIC を割り当てます。ダイナミック vNIC 上のトラフィックを監視している場合、監視元を再設定する必要があります。

## ダイナミック vNIC 接続ポリシーの作成

ダイナミック vNIC 接続ポリシーを作成できます。

### 手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。
- ステップ 2** [LAN] タブで、[LAN] > [Policies] を展開します。
- ステップ 3** ポリシーを作成する組織のノードを展開します。  
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。
- ステップ 4** [Dynamic vNIC Connection Policies] ノードを右クリックし、[Create Dynamic vNIC Connection Policy] を選択します。
- ステップ 5** [Create Dynamic vNIC Connection Policy] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

Name	説明
[名前] フィールド	<p>ポリシーの名前。</p> <p>この名前には、1 ～ 16 文字の英数字を使用できます。 - (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後で、この名前を変更することはできません。</p> <p>(注) 動的 vNIC 接続ポリシー名の値として「default」を指定しないでください。Cisco UCS Manager は、「default」を参照している空のポリシーを自動的に解決します。静的 vNIC のみが定義されたサービスプロファイルまたはサービス プロファイル テンプレートは、存在する場合に、自動的にポリシー「default」を参照します。動的 vNIC 接続ポリシー名に「default」を指定した場合、それらのサービスプロファイルまたはサービス プロファイル テンプレート上で予期しない動的 vNIC が作成されることがあります。</p>

Name	説明
[説明] フィールド	<p>ポリシーの説明。ポリシーが使用される場所と条件についての情報を含めることを推奨します。</p> <p>256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。`（アクセント記号）、\（円記号）、^（caret）、"（二重引用符）、=（等号）、&gt;（大なり）、&lt;（小なり）、または'（一重引用符）は使用できません。</p>
[Number of Dynamic vNICs] フィールド	<p>このポリシーの影響を受けるダイナミック vNIC の数。</p> <p>0 ～ 256 の整数を入力します。デフォルト値は 54 です。</p> <p>(注) システム コンポーネントが、この vNIC 数を 256 未満に制限する場合があります。</p>
[Adapter Policy] ドロップダウンリスト	このポリシーと関連付けられるアダプタプロファイル。すでに存在しているプロファイルだけが、このドロップダウンリストに表示されます。
[Protection] フィールド	<p>ダイナミック vNIC は Cisco UCS で常に保護されますが、優先するファブリックがある場合は、このフィールドを使用してそれを選択できます。次のいずれかを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Protected Pref A] : Cisco UCS はファブリック A を使用しようとしませんが、必要に応じてファブリック B にフェールオーバーします。</li> <li>• [Protected Pref B] : Cisco UCS はファブリック B を使用しようとしませんが、必要に応じてファブリック A にフェールオーバーします。</li> <li>• [Protected] : Cisco UCS は使用可能なファブリックを使用します。</li> </ul>

**ステップ 6** [OK] をクリックします。

**ステップ 7** 確認のダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## ダイナミック vNIC 接続ポリシーの変更

ダイナミック vNIC 接続ポリシーを変更できます。

## 手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。
- ステップ 2** [LAN] タブで、[LAN] > [Policies] を展開します。
- ステップ 3** 変更するポリシーを含む組織のノードを展開します。  
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。
- ステップ 4** [Dynamic vNIC Connection Policies] ノードを展開し、変更するポリシーをクリックします。
- ステップ 5** [Work] ペインの [General] タブをクリックします。
- ステップ 6** 次の 1 つ以上のフィールドを変更します。

Name	説明
[説明] フィールド	ポリシーの説明。ポリシーが使用される場所と条件についての情報を含めることを推奨します。
[Number of Dynamic vNICs] フィールド	このポリシーの影響を受けるダイナミック vNIC の数。
[Adapter Policy] ドロップダウン リスト	このポリシーと関連付けられるアダプタ プロファイル。すでに存在しているプロファイルだけが、このドロップダウンリストに表示されます。

[Name] フィールドなどの、ポリシーの他のプロパティは変更できません。

- ステップ 7** [Save Changes] をクリックします。
- ステップ 8** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

## ダイナミック vNIC 接続ポリシーの削除

ダイナミック vNIC 接続ポリシーを削除できます。

## 手順

- 
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [LAN] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [LAN] タブで、[LAN] > [Policies] > [Organization\_Name] を展開します。
  - ステップ 3 [Dynamic vNIC Connection Policies] ノードを展開します。
  - ステップ 4 削除するポリシーを右クリックし、[Delete] を選択します。
  - ステップ 5 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
- 

## VM 上のダイナミック vNIC プロパティの表示

VM でダイナミック vNIC プロパティを表示できます。

## はじめる前に

VM が動作可能である必要があります。

## 手順

- 
- ステップ 1 [Navigation] ペインの [VM] タブをクリックします。
  - ステップ 2 [VM] タブで [All] を展開します。
  - ステップ 3 [Virtual Machines] を展開します。
  - ステップ 4 ダイナミック vNIC が含まれている仮想マシンを展開します。
  - ステップ 5 ダイナミック vNIC を選択します。
  - ステップ 6 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。  
[Properties] 領域に vNIC プロパティが表示されます。
- 

## SR-IOV のカスタム イーサネット アダプタ ポリシーの作成

定義済み [SRIOV] イーサネット アダプタ ポリシーは最大 32 個の CPU スレッドをサポートします。サーバーに 32 個を超える CPU スレッドがある場合、この手順を実行して CPU スレッド数に等しい割り込み数をサポートするカスタムアダプタポリシーを作成し、指定する必要があります。

アダプタ ポリシーの作成の詳細については、の「Configuring Ethernet Adapter Policies」を参照してください。



## ヒント

領域のフィールドが表示されない場合は、見出しの右側の [Expand] アイコンをクリックします。

## はじめる前に

サーバによって使用される CPU スレッド数を判別します。[Equipment] > [Chassis] > [Servers] に移動し、[Servers] テーブルでサーバの [Threads] 見出しを表示すると、この情報を取得できます。

## 手順

**ステップ 1** 別のメニューから [Create Ethernet Adapter Policy] を直接開いた場合、ステップ 6 に進みます。

**ステップ 2** [Navigation] ペインの [Servers] タブをクリックします。

**ステップ 3** [Servers] タブで、[Servers] > [Policies] を展開します。

**ステップ 4** ポリシーを作成する組織のノードを展開します。  
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

**ステップ 5** [Adapter Policies] を右クリックし、[Create Ethernet Adapter Policy] を選択します。

**ステップ 6** 次のフィールドに、ポリシーの名前および説明を入力します。

Name	説明
[名前] フィールド	<p>ポリシーの名前。</p> <p>この名前には、1 ～ 16 文字の英数字を使用できます。 - (ハイフン) と _ (アンダースコア) 以外の特殊文字やスペースは使用できません。また、オブジェクトを保存した後は、この名前を変更できません。</p>
[説明] フィールド	<p>ポリシーの説明。ポリシーが使用される場所と条件についての情報を含めることを推奨します。</p> <p>256 文字以下で入力します。次を除く任意の文字またはスペースを使用できます。` (アクセント記号)、\ (円記号)、^ (caret)、" (二重引用符)、= (等号)、&gt; (大なり)、&lt; (小なり)、または' (一重引用符) は使用できません。</p>

**ステップ 7** [Resources] 領域で、次に示すように値を設定します。

Name	設定
送信キュー	1
Ring Size	256
受信キュー	4

Name	設定
Ring Size	512
Completion Queues	5
割り込み	サーバによって使用される CPU スレッド数を入力します。

**ステップ 8** [Options] 領域で、次に示すように値を設定します。

Name	設定
All offload settings	イネーブル
RSS	イネーブル
Fallback Timeout	5 秒
Interrupt Mode	MSIX
Interrupt Coalescing Type	Min
Interrupt Timer	125 マイクロ秒

**ステップ 9** [OK] をクリックします。

**ステップ 10** Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

